

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 6 月 11 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学（渡航）した時の学年	2 年生
帰国年月日	2023 年 5 月 22 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	カナダ
留学先大学	ヨーク大学（日本語名） York University（現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	3, 4 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名：教養学部 現地言語での名称：Liberal Arts & Professional Studies ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他：
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他：
学年暦 ※記入例： 1 学期： 4 月上旬～7 月下旬 2 学期： 9 月中旬～2 月上旬	1 学期：9 月～11 月 2 学期：1 月～4 月(ストライキにより 5 月) 3 学期： ～ 4 学期： ～
学生数	54,722
創立年	1959

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (CA\$)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	11,776	1,295,360 円	
食費	2,000	385,000 円	
図書費	50	5,500 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費		円	日本のキャリアのままだったため無し
現地交通費	350	38,500 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	3,000	330,000 円	
被服費	500	55,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,632.5	179,575 円	形態 : York CA\$756 明治大学 96,415 円
渡航旅費	3,500	385,000 円	
ビザ申請費	235	25,850 円	
雑費	300	30,000 円	寮になかった調理器具や電子レンジ、 寝具、ドライヤーを購入する必要がありました。
その他		円	
その他		円	
合計	23,343.5	2,729,785 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：日本 目的地：カナダ 経由地：

復路 出発地：日本 目的地：カナダ 経由地：アメリカ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社：Air Canada 料金：20 万

復路 航空会社：United 料金：18 万 ∴合計：38 万

航空券購入方法

☐ 旅行代理店（店名： ）☒ インターネット（サイト名：Expedia, HIS）☐ その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎等）

☒ 学生寮（寮の名前：The Pond Rd. Residence） ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋（同居人数 1）

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン（☒ 自炊可 ☐ 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

ヨーク大学からのメールに従い、希望の寮に申し込んだ。

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

寮の中では一番新しいようで、非常に快適であった。空調の管理が寮全体で行われているようなので、温度調節可能な格好を準備しておくが良い。また、自炊予定の方や能力のある人はミールプランに加入する必要は無い。加入する場合は Convenience を強く推奨する。ミールプランには 2 種類あり、ミールプランは学内の食堂でのみ使えるものだが、Pond Residence からは便が悪いので利用には難を要する。ミールプランプラスは学内の飲食店であればどこでも利用できる所以その点を留意して申し込む方が良い。寮内で利用可能な機器はオーブン、コンロ、冷蔵庫、冷凍庫、マットレス、クローゼット、日本と同じ二股式の充電差込口、シャワー、トイレ、水道、洗濯機、乾燥機のみ。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例：現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所：)

2) 留学期間中、学内外で問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等：)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

在留届を出したことで、外務省からメールが配信されていたが、安全であった。日本と同じように生活していた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に学内ではインターネットが快適に繋がる。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

口座は開設せず、日本のカードで支払いを行った。口座が無いと現地の送金制度を用いることや、アルバイトへの従事が難しくなるので、必要に応じて開設すると良い。自身は現金を両替していったので、外食にて個別会計が難しい際には、現金で対応した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

なし。基本的に手に入らない物はないので少ない荷物での渡航が好ましい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません（理由： ）
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他（ ） ☐ 履修の制限があった：	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
International Marketing	国際的販売手法論
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	CharlesHendriks
授業内容	北米の販売手法を軸として主に国際的な売買契約や取引における手法の紹介やそれらの違いが講義内で説明された。学習内容に基づいて班活動を行い、北米企業の国際展開を考え、発表・課題作成が課された。
試験・課題等	中間と期末、及び班全体での発表と課題作成。
感想を自由記入	近年注目の集まる中国や、欧州の他に、日本の事例も多々できたので、国際的な観点に加えて、世界から見た日本も学べたので興味深かった。気さくな教授だったので、授業内で友人や知り合いが出来るような工夫を凝らしていらした。実際にその授業にあやかり友人ができた上、班活動自体も雰囲気良くできた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）
Applied Marketing Management		応用的販売手法による経営論
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies	
履修期間	Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Ian Gordon	
授業内容	より実践的な販売手法として講義では理論が中心に行われた。それらの理論を活かして、班単位で現地の企業へ今後の展望や提案を含む発表を行った。	
試験・課題等	中間と期末、事例学習、班全体での発表と課題作成。	
感想を自由記入	基本的な理論は然程難しくなかったものの、それらを用いた事例学習は頭を使うものが多かった。班単位での企業との連携では、対価は支払われないものの、実際の仕事さながらの分析や発表を強いられた。大変ではあったものの今後の糧になる授業だった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）	
International Business		国際事業論	
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies		
履修期間	Fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Steven Liang		
授業内容	企業の各地域での事業例とその際に重要となる点を教科書を基に説明された。それらの知識を元に班活動を通じて企業の効果的で画期的な海外展開策を考え課題提出と発表を行った。		
試験・課題等	中間と期末、班全体での発表と課題作成。		
感想を自由記入	北米の学校なので、北米の企業を基軸として日本を始めとした諸外国との違いや留意点を学んだ。海外から見た日本企業や社会を学べたため、興味深かった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）
Digital Marketing		デジタル事業論
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies	
履修期間	Winter	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Isha Sharma	
授業内容	各 SNS やメールでの事業展開を学んだ。SNS を用いた事業展開の一環として企業の SNS を運営する。	
試験・課題等	中間と期末、班全体での発表と課題作成。	
感想を自由記入	学びから実践という流れがあったので、理解も経験もできる為になる授業であった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）
Advanced Spreadsheets for Business Applications		スプレッドシートの事業活用（応用）
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies	
履修期間	Winter	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Rongbing Huang	
授業内容	Excel を用いた諸情報の整理や管理を人選しながら学んだ。	
試験・課題等	中間・期末	
感想を自由記入	教授のスライドが丁寧でわかり易く、Excel を基礎から学べるので、今後社会に出る自分にとって非常に有益な授業だった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
Business Analytics	事業分析論
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies
履修期間	Winter
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Mohsen Javdan
授業内容	分析ソフトを用いた回帰分析による情報の読み取りとその活用方法を実践を通じて体験する。
試験・課題等	出席点、事例学習。
感想を自由記入	情報を集めて終わるのではなく、もっともらしい因果関係を見つけだす為に得た情報を分析する現代社会で必要となる授業内容だと感じた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
Decision Analysis	決断分析論
科目設置学部・研究科	School of Administrative Studies
履修期間	Winter
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Humayun Chaudhary
授業内容	出来得る限り合理的で利益の最大値となる選択枝を確率計算から算出する授業。計算機の利用が必須となる。
試験・課題等	中間・期末。
感想を自由記入	日本の高校相当の数学的知識があったので、理論的な部分の理解は困らなかったが、英語で数学の問題を解き進める事に苦戦した。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
Japanese Popular Culture: Beyond Manga and Anime	日本の大衆文化：漫画とアニメ
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics
履修期間	Winter
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Cary S. Takagaki
授業内容	日本の大衆文化として主に漫画とアニメを題材にして、「かわいい」とは何かを深掘る。
試験・課題等	文献要約、発表、期末課題。
感想を自由記入	日本の文化を海外視点で学べた点が面白かった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。（下記 2 以降は記入不要）
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他：
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。 内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。 就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。） 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を 教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、寮の申請
	8月～9月	渡航
	10月～12月	中間試験
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	期末試験・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

留学を志した理由は2点で、英語力の向上と多文化との接触だ。その為第一言語が英語であり、多様な人種がいるカナダを選んだ。留学中の中でも特に印象深いのが非常勤講師人によるストライキで、日本ではなかなか経験出来ない貴重な経験をさせていただけた。助言として、基本的に有事の際には学部の事務の方と連絡をすること。自身は国際連携事務室への報告で充分かと勘違いしてしまったので、留意しておくことを推奨する。基本的に国際連携事務室と学部の事務室は繋がっていないため、双方に別途で報告する必要がある。

今後留学を志す場合、変化に対応できる柔軟性や、変化を面白いと感じ取れるような感受性を身に付ける努力を推奨する。留学中は親元を離れ、人間関係を再構築する必要があるため、何事も一人の力で対処することが必要になる。その際に問題を解決するだけの行動力には、柔軟な考え方や過度な不安による躊躇いの取り払いが要されるからだ。留学を経て一番の収穫だと思えたのは慣れない環境下での対人関係構築や問題解決であった。単に英語を学ぶだけであれば日本で事足りないわけでもないの、その先の目標を持って留学を志すと、言語の壁や文化の違いなどで挫折する可能性が小さくなる。